

松尾九条の会

ニユース

NO. 30

2022. 10. 20 発行

発行責任者

田中康晴

☎075-391-0852

(部内資料)

ごあいさつ

私共憲法9条の宿敵であつた安倍元首相が殺された。殺してほしくなかつた。生きて我々の前で告発され、国民に謝罪させられた。岸田首相は彼を国葬にした。大多数の反対の中で、国民を甘くみた。我々は甘くみられなかった。憲法9条はそんなに甘くはない。この国葬を、岸田政権を、自公維政権を葬り去る葬儀であつた。新しい。新たな闘いの始まりとしましょう。

今や日本国憲法9条は、ロシア・ウクライナ戦争の中で、平和を願う世界の9条としてますますその役割を大きくしています。頑張りましょう。

今回は会員の皆さんの決意とつづやきを特集し

ました。

(世話人代表 田中康晴)

◆松尾9条の会・会員の皆

さんからの投稿

・昨日、多くの人が反対する中で安倍元総理の国葬が執り行われた。

私は彼が国葬に値する人物だとは考えていないが、人の好みや功績の評価は区々だから、それに就いてはこれ以上言いません。

しかし、この国葬が法的根拠もなく憲法違反だということとは明白だ。

思えばあの人は日本国憲法が嫌いだった。こんな情けない憲法とまで言った。

憲法を嫌いだとか気に入らないという、気分で判断されてはたまらない。あの人は大嫌いな憲法を批判するだけでなく、まるでそれが存在しないが

ごとく無視をし、自分の勝手な判断で様々なことを決めてきた。

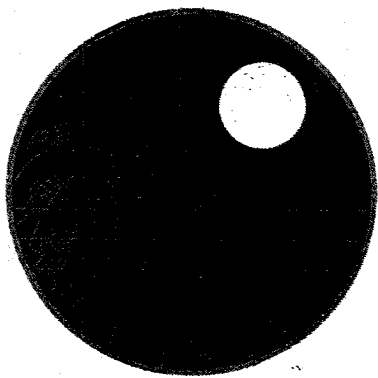
残念ながらその人の国葬までも憲法違反で強引に行われた。あの人のらしい見送られ方といえば、首うかもしれないが、現首相までもが前任者の悪い所を引き継がなくてもいいと思う。

安倍さんは悲しい最後ではあつたが、唯一の功績は、多くの間に埋もれた不祥事が自らの死によって暴かれたということだろうか？ (宮岸昌弘)

・森、加計、桜などの罪が死んだからと無くなるわけではない。100億とも言われる国葬に掛る費用も税金だと思つと許せない。「与野党では評価が分かれる。」なら世論は反対が賛成より多い。賛否で言うなら国葬は中止しかない。

賛否分かれる事に対して、共産党は「岸田首相の一存で決める事ではない。」と言う。あたり前の事と思う。民主主義を

ざす党ならその事を徹底してほしい。九条の会の勉強会で、私は質問した。志位氏の「無抵抗では無い。自衛隊を使う事も。」の発言をどう思うか？に「賛否両論有る。」「今その話をするのに時間が無い。」との返事でした。党員の中でさえ賛否が有るにもかかわらず公の場所でする発言ではなかったのでは？もし発言するならば全党員に賛否を問うべきだったのでは？憲法前文、九条を何度読んでも納得がいかない。 (永山泉)



・平和の大切さ

日ごろから 一人でも多くの仲間が出来る事 嬉しく思っています。

毎日 あちこで 知らない人にも 話しかけていま

す。いろいろ話していると暮らした事 体の事など話がきけます。その中で戦争は嫌だという人 戦争は二度としたくないという人は多いです。多くの人が望んでいないのに 国は 今の政府は 戦争のできる準備を 強力に推し進めています。多くの人が本当は 戦争反対だと思っているけど なかなか声が上がリません。

今の憲法を守り 戦争反対の声を大きく上げていくことが 今大切なことなのだと 話していきたいと思ひます。 (中田勝)

・第42回 平和のための戦争展に参加しての感想

8月6日、松尾9条の会として9名が参加しました。長浜バイオ大学に午前10時40分に着き、一応全体の催しを見てもらい11時40分に再び集合してもらつた。田中代表より連絡がありました。

今までのように立命館ミュージアムとちがって、場所もせまく少し迫力はなかったですね。場所が変

わったので仕方のないように思います。それと会場の配置を少しわかりやすく、入口に書いてもよかったですね。プログラムを見ればわかることですが、展示の内容はいろいろですが毎年ある「青い目の人形」についてくわしく書かれていたのはよかったです。

「戦争遺跡に平和を学ぶ京都の会」も具体的に書かれており私も知らなかった内容もあり、よくわかりました。

来年はまた立命館のミュージアムに戻り、広く展示してもらい、大きい戦争展にしたいですね。

(山田喜彦)

・安倍元首相の銃撃事件後、岸田首相は安倍氏の死を利用して改憲や軍拡ムードを醸成しようとする腐心したもの、反共産主義や改憲の理念を共有する自民党と統一協会との長年にわたる癒着やオリンピック利権の実態があらわになり、物価高騰への無策も相まって政治的不

信を買い、内閣支持率は急落しています。

しかしながら、土地利用規制法の施行や日米合同軍事演習の実態など軍事大国化への動きが水面下で進行しています。

今まさに、改憲勢力と私たち9条の会も含む立憲勢力のせめぎ合いの時期に立っているのではと思います。

私たち、9条の会の頑張り時です。

松尾9条の会員のみなさん。憲法の精神をいかした命と暮らしを大切にする社会を実現するためともに頑張っていきたいと思います。

(K・I)

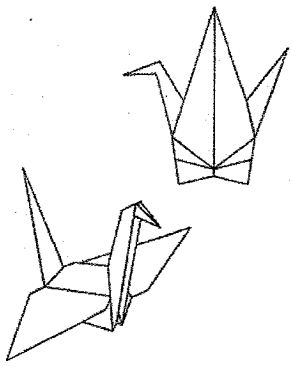
・名古屋の戦争展

8月13日、名古屋のバンテリンドーム隣にある市民ギャラリー矢田を訪れ、「あいち・平和のための戦争展」に参加しました。恒例の愛知県各市町村の空襲被害状況についての展示の他、ロシアによるウクライナ侵攻の写真展示、沖縄の基地問題を扱った愛知県以外に関する展示

も多く見られました。そんな中、「井縄縄復帰検定」テストの展示があり、沖縄に現存する最古のコンクリート建築物は次のうちどれか？等問題が出されていました。参院選後の統一協会問題で、内閣支持率や自民党支持率は下がっていますが、日本維新の会の支持率は堅調、特に関西においては在阪マスコミの異様ともいえる礼賛ぶりが目に付きます。

維新の実態や、改憲の恐ろしさについて有権者にもっともっと知ってもらうために、クイズ問題形式の宣伝やPRを取り入れてみてはと考えています。

(T・T)



◆「9条 京都のつどい2022」が開催

10月1日(土)アバンテ

イの龍谷大学響都ホールで「9条 京都のつどい2022」が開催され、九条の会事務局で一橋大学名誉教授の渡辺治さんが「新たな改憲情勢と私たちのとりくみ」と題して講演、改めて改憲発議阻止のための運動が必要で、憲法9条への自衛隊明記や緊急事態条項の新設は、一体となって戦争に国民を巻き込むためのものであるとその危険性を訴えました。

(竹松)



◆事務局ニュース

暑さも和らぎ、過ごしやすき季節になってきました。ただ、コロナの状況がどうなるか依然心配です。そんな中ですが、久しぶりに署名行動と親睦会

を行うことにしました。

◎今後の日程

・11月3日(木・祝)13時30分より秋の憲法集会が円山野外音楽堂にて行われます。(雨天決行。コロナ感染拡大状況により開催形態変更の場合あり)よろしくお願ひします。
・11月20日(日)嵐山中ノ島公園にて署名行動を実施します。午前10時30分集合です。また、署名行動終了後、親睦会を行います。屋外での軽食と懇親を兼ねたひとときを過ごしたいと思ひます。(雨天やコロナ感染拡大の場合、中止)皆様ご参加よろしくお願ひします。

西京区関係でも自民党や維新の会などで旧統一協会と関わっていた市会・府会議員が判明しました。旧統一協会は改憲運動を進めています。来年春には市会・府会の選挙があります。憲法を守る護憲派の候補者を応援したいですね。

(事務局)